

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2015年11月5日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「凍死してしまいます」 暖房費が冬季加算を上回る場合も 生活保護冬季加算引き下げ 不服審査請求を

生活保護の冬季加算が今年の冬から大幅に引き下げになりました。生活保護利用者から、冬の生活の心配とともに、引き下げ中止を求める切実な声が広がっています。今回の引き下げは、これまで、暖房費をはじめ冬を生活するために必要な費用も含め算定していましたが、改定では、冬の光熱水費だけを算定根拠にしています。生活保護制度を良くする会では、11月17日、不服審査請求を準備していますが、「私の手記」には暖房費とともに、暖房以外の費用も含め記載しています。是非、回りの方にもお知らせください。

「私の手記」から

「下着も靴下も修理しています。夏の靴も修理しています。子ども2人は靴を壊してしまうので、どうしても買わなければいけません。冬の灯油代、食費だけは切りつめすぎると、病気になるてしまいます。冬の灯油代だけは切り詰めると凍死します」(56歳女性・3人世帯)

「2年前の保護費の引き下げ後、今は新しい下着は年間2

枚から3枚きらい、また夫分は上下2組くらいしか買う事ができません。特に冬物の下着は高く買う事ができません」(65歳女性・二人世帯)

「私はリウマチなどのため、外出が困難で常時在宅にいます。ガス暖房料金は高く、昨年まで冬季加算額を越えていました(昨年の暖房費121,219円)」(61歳女性・一人世帯)

生活が大変 介護が心配

深刻な相談あいつぐ

豊平で相談会



10月24日、とよひらなんでも相談会が行われ、13人から18件の相談が寄せられました。生活福祉関係が4件、医療介護関係が2件、住まいくらし関係4件、法律関係が8件、労働雇用関係2件で、深刻な相談もありました。年金生活者が多くわずかな年金で暮らしている実態も明らかになりました。

「生活保護申請したが却下されたのでどうしたらよいか」という男性が訪れました。相談員が、体調が悪い様子だったため、医療機関の受診を勧め受診した結果、入院治療が必要な状態で、入院先で治療とともに、生活保護申請も行いました。生活保護利用者からも「役所から就労指導を受けてマンション管理の仕事もついたが、会社からパワハラを受けて自主退職せざるをえな

くなり精神的苦痛をうけた」などの相談もありました。

また、多額の債務のため住まいがない女性を、たまたま知り合い自宅に住まわせていたという方から「今は、心臓疾患で緊急入院しているが、本人負担の医療費や介護を要する状態での退院後の住まいなどが心配」との相談もありました。そのほかにも、多重債務、相続トラブル、等多彩な相談がありました。

11月・12月の相談会の予定

11月11日(水) 介護・認知症無料なんでも電話相談
10時～18時 ☎0120-778-117

11月24日(火) 暮らしのSOSなんでも電話無料相談
10時～17時 ☎0120-807-772

■11月18日(水) 13:00～16:30 東区 無料なんでも相談会
【共同ビル 東区東苗穂5条1丁目】

■11月21日(土) 10:00～14:00 SOSしろいし生活なんでも相談会
【菊水ビル 白石区菊水4条1丁目】

■12月の予定 6日(日) 清田区/13日(日) 江別市/12月22日(火) 西区

好評発売中

『道民のくらしに役立つ
ハンドブック 2015-16』



定価 200円